

会 議 録

会議の名称		令和7年度第2回虹色学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年11月25日（火）開会14:00 閉会16:00		
開催場所		つくば市立研究学園小学校 多目的室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野尻 敏弘、榎 幸子、実川 菜穂、三田部 勇、仲村 健 島田 由美子、二木 重光 研究学園中学校：校長 板谷 亜由美、教頭 岸 ゆう子 教務 落合 里美 研究学園小学校：校長 渡部 哲、教頭 川島 真由美 教務 土田 剛士		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 一部公開
非公開の場合はその理由		傍聴者数 0人		
議題		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
会議録署名人		地域防災イベントの共有・協議について		
		確定年月日	年	月 日
会議次第	1 開会 2 学園長挨拶 3 前回の議事の確認 4 授業参観（14:10～14:30） 5 協議（14:35～15:55） ○熟議 テーマ「地域防災イベントの共有・協議について」 ・イベントの概要 ・マニュアルの確認 ・来年度の実施について 6 その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について（令和8年（2026年）2月9日（月）9:00～） 7 閉会			

＜審議内容＞	
1 開会	三田部会長：会議を進行するに当たり書記を虹色学園の榎委員にお願いしたい。 →承認
	今回、熟議では防災イベントが中心になっているが、サポーター、地域の皆様が連携を取って今の形になっているのがとても素晴らしい取組である。今回、各々確認してもらい素晴らしいイベントになると思っている。引き続きよろしくお願ひしたい。

2 学園長挨拶

板谷委員：11月29日（土）の地域防災イベントが迫ってきた。熟議の方でより充実したイベントとなるようにしていけたらいい。

3 前回の議事の確認

三田部会長：詳しい内容については、つくば市教育委員会ホームページに掲載されているので確認をお願いしたい。→特に意見なし。

4 授業参観（14:10～14:30）

1年生から9年生の参観

5 協議（14:35～15:55）

○熟議 テーマ「地域防災イベントの共有・協議について」

川島委員：授業参観ありがとうございました。虹色学園の児童、生徒は頑張っている。子供たちを巻き込んで11月29日（土）に地域防災イベントを開催したいと思っている。内容については中心になって動いている実川委員にお願いしたい。

・イベントの概要 ※虹色学園防災イベント2025 運営マニュアル、配置図、参照

・マニュアルの確認 ※虹色学園 地域防災イベント当日運営ガイドライン参照
実川委員：イベント概要、当日マニュアルの説明を行った。

川島委員：運営体制について 総合責任者：三田部会長、来客対応責任者：岸委員にお願いしたい。

実川委員：来客、トラブルの対応は校長先生、三田部会長になっているが変更するか。→変更なし。

板谷委員：当日はどこか取材にくるのか。→取材対応等については、川島委員が担当する。

板谷委員：市長訪問対応についてはどうか。

野尻委員：当日バタバタしてしまうので、基本的な話し相手として、校長先生に対応をお願いしたい。内容のヒアリングを求められたら、話を振っていただけるといい。→基本的には校長先生が対応、話を聞きたい場合には、各ブースに誘導する。

野尻委員：渡部委員と板谷委員委対応を依頼する。各ブースを巡る方向で検討する。

実川委員：基本的に実川は本部に待機している。各担当に責任者を設けている。先生方には子供たちの見守りをお願いしたい。

野尻委員：子供たちに感謝状を作成する。三田部会長の名前を入れる。→了承。

川島委員：名前が入っていない方の漏れはないか。→大丈夫。

実川委員：当日、最終確認。最終資料はLINE WORKSとTeamsにアップする。

川島委員：休憩室はサポーター会議室とする。担当確認については大丈夫か。

→了承。

実川委員：机や椅子など必要なものの準備はまとめて置いておいてもらいたい。前日準備でサポーターズが来る。雨が降った場合の対応はどうか。→学校で子供たちが使っている傘立てを準備する。

実川委員：入口、駐輪場について、玄関は開放するが大丈夫か。→大丈夫。

実川委員：スタッフは室内履き持参だが、お客さん用スリッパは足りるか。→大丈夫

渡部委員：子供たちは上履きを持参してもらおうといい。

板谷委員：謎解きは中学校の体育館使用となっているが中学校の体育館玄関は開けないのか。→体育館の間の通路を通ってもらう。

板谷委員：すのこを手前に移動する。謎解きは見学可能か。→可能。

渡部委員：謎解きとは何か。

実川委員：在宅避難グッズを使用し、防災に必要な備品を探すゲームである。自宅避難する時に学べるグッズなどを謎解きしながら集める。今回よりキットを使える権利を購入している。この先、必要であれば使用料のみで学校で使用できる。1回の実施時間は30分程度を予定している。

三田部会長：他のブースは自由に見て回れるのか。→来ていただいた人たちで見回ってもらう。

渡部委員：謎解きは同じ内容を4回やるのか。→その通りである。

実川委員：各ブース色々な展示や体験できるものもあるので、10～20分程度時間がかかる予定である。

川島委員：防災倉庫については回るのか→覗く程度に考えている。

川島委員：体育館に緑のシートを敷く。→当日準備でテーブルを置く両サイドにシートを敷いておく。

川島委員：立て看板を設置する時に補助に入るか。→サポートのお願いをしたい。

川島委員：トイレは小中学校体育館のトイレを使用するのか。→その通りである。

渡部委員：子供たちにノベルティ用の袋を持たせた方がいいか。→あったほうがいいだろう。

三田部会長：救護ブースについては。→校外学習の時に持って行く用のキットを準備する。

三田部会長：何かあった場合、本部にいる大人が対応した方がいい。

仲村副会長：ロゲイニングのイベント（研究学園エリアのまち全体を会場としてオリエンテーリングに似たイベントを行い、地域内外からの参加者で街を巡る）を区会連合会研究学園支部でやるので、100人弱が参加し、街の中のチェックポイントを回る。チェックポイントに研究学園小の体育館に入っているだけでくことを事前に調整のお願いをしてきた。いい連携になるのではと思っている。ロゲイニングの参加者が体育館と体育館の間を通路として通るのは大丈夫か。→駐車場の車に気を付けてもらえれば大丈夫である。

仲村副会長：ロゲイニングの子供たちは蛍光緑のビブスを着用している。

島田委員：謎解きやナダレンジャーには参加できないのか。→時間的に難しい。流れでブースを見る感じになる。

野尻委員：フォトブースで写真を撮るのはどうか。→フォトブースで写真を撮ることでポイントアップにするなど、ルールに入れて考えてみる。

仲村副会長：ロゲイニングは10時から13時ぐらいまでの予定である。

川島委員：ロゲイニングの参加者は。→小学生は大人と参加する予定である。子供たちだけになった場合、大学生がグループに入る。

二木委員：スタッフのビブスはどのように準備するのか。→サポーターズで準備する予定である。

二木委員：撮影の目的は何なのか。→記録、CSで発表する目的や学校のイベントをした蓄積として撮影する。

二木委員：後ろ姿、顔は写らない方がいいのか。顔が写っていなければまちづくりのSNSにアップ可能か。→顔の特定ができなければ大丈夫である。

野尻委員：撮った写真は全て直接欲しい。対外的に出すものに対して気を付けて欲しい。

板谷委員：ロゲイニングの参加者は何人か。→60人は参加申込みがあったが何人かはまだ読めない。

仲村副会長：市長は気さくに質問などをしてくれる。短い時間でのやりとりになると考えられる。

川島委員：サポーター、出展者の休憩場所はあるのか。→サポーターズ室のみでいい。

渡部委員：駐車場は出展する人は中学校横、スタッフや先生は野球場横を使用してもらう予定である。

渡部委員：サポーターズ室の位置を帰りに確認したい。

・来年度の実施について

川島委員：来年度も防災イベントをやるのか。→まだ考えていない。内容は変更してもいいのではないか。

川島委員：次年度もやるのなら、「平日開催などにして子供たち全員を巻き込んで年間行事に入れてもいいのでは」と話があった。

野尻委員：働いている人が多いので、平日開催はハードルが高い。

榎委員：一回大きいイベントをやると休憩も必要である。

仲村副会長：全校でやるのはハードルが高いが、有志の子供たちを集めるなど、興味を持った子供たちでグループを作るなどクラブのような形で、継続的に一緒に話ができるCS協議会メンバーがそこに入れるといい。平日に子供たちと話し合い、本番は土日など整理できると良いのではないかと思われる。

野尻委員：共有として、子供たちにやりたいことのアンケートを取った。何かやりたいニーズは強いが具体化できないのが現状だったので、うまくコーディネートできるといい。子ども達はイベント経験が少ないのでいい案がいただけると有難い。

仲村副会長：問題意識は同じで子供たちが動きやすいよう、大括りに「何かをやりたい」というより、これまでの子供たちの声も参考にしながら、もっと具

体的に動けるように目標設定を投げかけてみることも一案ではないか。やりたいことや目標とイベントの主旨がつながってくるといいと思った。すぐにはできないので、3年後など少しゆるやかな時間軸でできるといい。

野尻委員：アンケート結果を子供たちにフィードバックし、進展があればいい。

渡部委員：子供が参加だとブースの数も多くなるが、子供たち自身で出店とお客さんで回るなどの参加ができるものもいい。

板谷委員：参考として、春日学園義務教育学校では各クラスで防災の出し物をした春日フェスタを実施している。近隣の学校に研究学園の話をしたところ、春日の教頭先生が見に来てくれる。

野尻委員：春日フェスタは年間行事の一環として行ったのか。→今年度初めて実施したが、行事の位置づけとして実施していた。

川島委員：子供たちのためのCSなので子供たちの成長に繋がればいいと思う。

6 その他

事務局：当日をととても楽しみにしている。春日学園義務教育学校の話ですが、児童生徒会がCS協議会の中に入っている。去年、子供たちから「文化祭をどうしようか」と提案があった。地域の人と関わりたいと提案があり、PTAから地域を巻き込むのなら、「防災かな」と話があり、防災に関する文化祭にしていきたいと思います。つくばスタイル科で学んだことを中学校の生徒たちがブースを作って展示していた。小学校は縦割りで展示を見て回っていた。午後はPTAでいくつかブースを作ったり、防災士の資格のある芸人を呼んだりしていた。香取台小や小野川小、秀峰筑波義務教育学校など市内で防災に関するイベントをしている。市でも12月に情報交換会があるので情報共有ができるといい。3月にも情報交換会を開催予定している。機会があれば実践した報告などしていけるといい。冊子「地域も学校も共に活性化するためにコミュニティ・スクールはどうあるべきか」社会教育委員会で話し合いをし、答申を作成したのでポイントに目を通していただきたい。

・第3回コミュニティ・スクール協議会は研究学園小学校、多目的室、令和8年2月9日（月）9:00～開催予定。

7 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

令和7年度第2回虹色学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和7年11月25日（火）

14：00～16：00

場所：研究学園小学校 会議室

次 第

- 1 開 会 14：00
- 2 学園長挨拶
- 3 前回の議事の確認
- 4 授業参観（14：10～14：30）
- 5 協 議（14：35～15：55）
 - 熟議 テーマ 「地域防災イベントの共有・協議について」
 - ・ イベントの概要
 - ・ マニュアルの確認
 - ・ 来年度の実施について
- 6 その他
 - ・ コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
令和8年（2026年）2月9日（月）9：00～
- 7 閉 会（16：00）

会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回虹色学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年5月19日（月）開会9:00 閉会11:00		
開催場所		つくば市立研究学園小学校 小会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野尻 敏弘、榎 幸子、実川 菜穂 三田部 勇、仲村 健、川村 靖子 島田 由美子、二木 重光 研究学園中学校：校長 板谷 亜由美、教頭 岸 ゆう子、 教務 落合 里美 研究学園小学校：校長 渡部 哲、教頭 川島 真由美 教務 土田 剛士		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 一部公開
傍聴者数		0人		
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		防災教育について		
会議録署名人		確定年月日		年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書の交付及び委嘱状の交付 3 説明事項 つくば市コミュニティ・スクールについて 4 会長・副会長の選出 5 協議 (1) 学園の基本方針と各校のランドデザインについて (2) 予算計画について (3) 熟議 テーマ「防災教育について」			

6	授業参観（小学校・中学校 9:40~10:20）
7	その他 コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
8	閉会

<p><審議内容></p> <p>1 開会 川島委員：令和7年度第1回虹色学園コミュニティ・スクール協議会を開会する。会議を進行するにあたり書記を虹色学園の槇さんをお願いしたい。→承認</p> <p>2 任命書の交付及び委嘱状の交付 岸委員：任命書、委嘱状については机上に配布、名前を御確認いただきたい。任期は今年度末まで、守秘義務等の責務がある。</p> <p>～委員自己紹介～</p> <p>3 説明事項 事務局：つくば市コミュニティ・スクールについて（※つくば市地域学校協働活動ハンドブック参照）学習支援が必要であることから、つくば未来塾のチラシ配布。グランドデザイン、学校運営に関して、教職員の任用など、学校評価などについて皆さんと熟議していく。昨年度までは推進会議、今年度から協議会となる。守秘義務となる話合いもあるので今後注意して欲しい。虹色学園のCSコーディネーターは野尻、槇、実川に担ってもらおう。活動に繋げるために、何回かの打ち合わせをしてもらうことで、実際の活動の実現に結びついていくので御協力をお願いしたい。新しい地域として繋がりが課題。子供たちが地域に愛情を返すサイクル作りも大切。</p> <p>4 会長・副会長の選出 岸委員：昨年度、座長の三田部委員、副座長・中川西委員の代わりに入った仲村委員にそれぞれ会長、副会長をお願いしたい。委員→承認</p> <p>5 協議 （1）学園の基本方針とグランドデザインについて 板谷委員：昨年度の指摘により、反映しさらに分かりやすく変更。施設隣接型、小中学校の環境を生かし、イベントや活動を取り入れることでより豊かな教育活動を送ることができるようにしていきたい。学年の枠を超えた交流行事を取り入れ、より充実した学校生活を目指していきたい。（※学園要覧参照） 渡部委員：異学年との交流を取り入れて活動している。上位学年にとっての自己有用感の育成、下位学年にとってのキャリア育成を進めている。交流を深めさらに充実した学校生活を目指している。</p>	
---	--

三田部会長：昨年度の話合いを元に御意見や質問をお願いしたい。

野尻委員：学校として悩んでいること、学校が抱える問題や課題などを教えて欲しい。

板谷委員：小規模校のため先生の人数が足りない。部活動顧問など必要なところに人が足りていないので部活動指導員を市に要望し補えるようにしていきたい。土日の地域展開を少しずつ進めていきたいが、なかなか思うように進んでいない。

渡部委員：登下校について心配。突発的な行事や、在籍の子供に対して支援していただける人がいたら有難い。

三田部会長：他に意見は。

野尻委員：他の学校に比べて虹色学園CSの特徴的動きは何なのか。市主催のCS情報交換会では、学校や先生の働き方について比較的によくやっている。との意見をもらった。虹色学園を参考にしたいと話があった。先生たちにアンケートを実施し、先生たちが困っていることをQ&Aにし保護者に展開しようとしている。先生たちが抱えている課題が大きい。働き方改革の一環として先生への支援をしている。

野尻委員：地域との繋がりがなかったので地域代表として、島田さんと二木さんに参加してもらった。子供たちに保護者と学校以外の地域イベント活動に参加してもらうことで社会性を育んでもらえる機会を得ることができている。

島田委員：今後も地域と学校の間関係を徐々に築き上げていければいい。

板谷委員：さくらまつりについては、吹奏楽部とのコラボ。生徒たちのボランティアなどで活躍する場があってよかった。

野尻委員：二木さんにSNSでイベントの発信をしてもらった。今後もお願いしていきたい。

二木委員：3月に実施したさくらまつりのボランティア参加アンケートでは、中学生を対象とした際の個人情報の取り扱いに特に注意が必要だと感じた。

三田部会長：個人情報の取り扱いについてはどのようになっているのか？

板谷委員：同意書などあれば保護者から許可をもらう。

三田部会長：グランドデザインについて今後も意見をいただけると有難い。委員→承認。

(2) 予算計画について

川島委員：イベント保険5,000円弱×2使用する予定。

野尻委員：転用可のような補足の言葉の追加があるといい。

(3) 熟議 テーマ「防災教育について」

実川委員：11月ころ開催予定。研究学園の児童生徒及び保護者、地域の方にも参加してもらう予定。今年度より始め、今後3カ年を目安に継続していく活動にしていきたい。

土田委員：防災についてグループで話し合いをお願い。

～10分～

(以下、各グループの話合いの概要の報告)

仲村副会長：自分たちの地域が本当に困ることは何なのかを考え備えること。実際に災害が起こった場合、どのように動くのか。地域住民と接点がない。役割分担が分からない。などの課題が挙げた。地域でキャンプなどをすることで楽しみながら、知り合いを作っていく機会を得るのもいい例ではないか。

落合委員：対象人数により規模の大きさが変わる。想定される災害により体験することが変わる。要確認が必要である。体験型の方がより子供たちの学びの幅が広がるので良い。被災したら誰がどのような状況になるのか？小学校(防災手帳、防災バック)、中学校(防災マップ、避難所設営ゲーム)の学習をしているので活用していけるといい。被災について伝え続けることや振り返りが大事。いろいろなブースで体験できるといい。

土田委員：体験型が子供たちにはいい経験になる。オール電化やトイレなど自動化が進んでいる現在、物が使えなくなる体験はいいことではないか？やるべきことをどのように地域に発信していくか。子供たちが授業参観で発表していることをさらに地域に伝える。ブースを設けることで、防災の意識を高めることが必要。災害が少ない地域だからこそ、体験を取り入れることが重要である。

土田委員：防災に関して実川さんと企画、準備を進めていく。

6 授業参観(小学校・中学校 9:40~10:20)

7 その他

三田部会長：次回の開催予定について

岸委員：第2回は小学校で令和7年11月25日(火)14:00、第3回は中学校で令和8年2月9日(月)9:00の予定。

岸委員：・次回の会議前に防災のイベントが入る。話合いができるツールが必要。
・研修会の開催のお知らせ(詳しくは事務局の村上に問合せ)。

8 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。